

アカアシシギ

Tringa totanus ussuriensis
Buturlin

チドリ目
CHARADRIIFORMES
シギ科
Scolopacidae

カテゴリー

大分県
環境庁

選定理由 | 本種の総個体数は、約 10,000羽と極めて少ない。

県内分布 | 全域の海岸部、河口部の湿地に飛来する旅鳥。

分布域 | 北海道東部で繁殖。琉球諸島では冬鳥。その他の地域では旅鳥。
中国東北部、シベリアで繁殖。中国南部以南で越冬。

生息環境 | 湿地、干潟、河口部、干拓地、水田などに旅鳥として、飛来する。北海道東部では草むらの中に営巣する。湿地でゴカイ、ミミズ、小魚などを食べる。

現状 | 県内では、ほぼ毎年、春に1～2回、秋に2～3回程度の観察記録がある。

カラフトアオアシシギ

Tringa guttifer (Nordmann)

チドリ目
CHARADRIIFORMES
シギ科
Scolopacidae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 IA

選定理由 |

県内分布 | 海岸、河口の干潟に、ごく希に飛来する旅鳥。

分布域 | 全国の海岸、河口の干潟にごく希に飛来する旅鳥。
サハラ以南で繁殖し、東南アジアで越冬する。

生息環境 | 海岸、河口の干潟に飛来し、砂浜や干潟でカニなどの甲殻類や無脊椎動物、小魚を食べる。

現状 | 本種の総個体数は、約 1,000羽と絶滅のおそれが高いレベルである。日本への飛来数は、年間数羽と極めて少ない。県内では、宇佐、杵築、大分、佐伯に数年に1回程度の観察記録があるだけである。

備考 | 国内希少野生動植物種、ワシントン条約附属書 I、国際自然保護連合：絶滅寸前種。

ハウロクシギ

Numenius madagascariensis
(Linnaeus)

チドリ目
CHARADRIIFORMES
シギ科
Scolopacidae

カテゴリー

大分県
環境庁

選定理由 | 本種の総個体数は約 21,000羽と少ない。大きな干潟が減少している。

県内分布 | 全域の干潟、河川河口部、海岸部の湿地に飛来する旅鳥。

分布域 | 全国の干潟に旅鳥、山口、福岡、佐賀、長崎、熊本、沖縄で越冬。
中国東北部、シベリアで繁殖。東南アジア南部とオーストラリアで越冬。

生息環境 | 広い干潟、河口部、水田、草地などに飛来し、干潟でカニなどの甲殻類。ゴカイ類、昆虫類などを食べる。

現状 | 県内では、春秋に数羽～20数羽が渡りの途中に休息していく。

備考 | 国際自然保護連合：準絶滅危惧種。